

< 1. 金沢支社の冬期交通確保への主な取り組み >

① 雪氷対策作業従事者および作業車両

当支社では、2017年度の冬期交通確保に向けて定期的な凍結防止剤散布作業や除雪作業などをおこなうため、次表に示す現場体制で雪氷対策に臨みます。

事務所名 (HSC : 保全・サービスセンター)		敦賀 HSC		福井 HSC	金沢 HSC	富山 HSC		計				
道路名		E8	E27	E8	E8	E8	E41	E8	E41	E27		
管理区間(IC間)		北陸道 木之本 ～ 今庄	舞鶴 若狭道 小浜 ～ 敦賀 JCT	北陸道 今庄 ～ 加賀	北陸道 加賀 ～ 小矢部	北陸道 小矢部 ～ 朝日	東海 北陸道 白川郷 ～ 小矢部 砺波 JCT	北陸道 木之本 ～ 朝日	東海 北陸道 白川郷 ～ 小矢部 砺波 JCT	舞鶴 若狭道 小浜 ～ 敦賀 JCT		
管理延長	(km)	44.7	39.0	60.1	69.6	84.3	42.6	258.7	42.6	39.0	340.3	
雪氷基地	(箇所)	3	2	3	5	4	3	15	3	2	20	
雪氷対策作業従事者	(約〇人)	130	70	110	110	160	70	510	70	70	650	
除雪	除雪トラック	(台)	18	11	17	18	24	11	77	11	11	99
	湿塩散布車	(台)	2	3	4	4	7	3	17	3	3	23
凍結防止剤散布	溶液散布車	(台)	2	1	1	2	1	1	6	1	1	8
	小型散布車	(台)	2	—	5	4	4	1	15	1	—	16
排雪	ロータリー車	(台)	3	2	4	4	6	3	17	3	2	22
	トラクターショベル	(台)	13	6	8	5	5	4	31	4	6	41
その他	自走式標識車	(台)	6	4	6	7	8	5	27	5	4	36
	巡回車(塩分濃度測定器付)	(台)	1	—	1	1	2	1	5	1	—	6
計	(台)	47	27	46	45	57	29	195	29	27	251	

- ・ 除雪作業は、降雪予測に応じて路面上の積雪量が5cmを超えないように取り組んでいます。
- ・ IC間により差がありますが、事故や自力走行不能車両などによる交通障害がないように1時間あたり3cmから強降雪区間では8cm程度までの降雪強度に対応できる体制としています。

高速道路で異常な降雪が発生した場合や降雪に伴う自力走行不能車両が多数発生した場合に、各支社、各保全・サービスセンター間相互の応援派遣などにより、除雪作業の強化とレッカー車等による自力走行不能車両の救援をおこないます。

過去に自力走行不能車両が多数発生した区間においては、救援車両(トラクターショベル)を気象予測に基づき、より早期に救援をおこなえるよう前線基地への事前配備を実施しており、今冬期は、多数発生時の救援時間短縮を目指し、前年度から1台(うち福井県内1台)増強をおこないます。

② 監視カメラによる交通障害の早期発見

当支社が管理する高速道路では、降雪状況や路面状況に加え、交通障害を早期に把握するため、監視カメラを前年度から13基(うち福井県内11基)増設し、227基設置しています。

具体的には、本線登り坂勾配が3%以上の区間を監視し、雪道で自力走行できない車両など、交通障害の早期発見に努めるとともにパトロール車両で簡易チェーンの装着やレッカー車などによる救援をおこないます。



③ 融雪設備の整備

E8 北陸道「木之本 IC～今庄 IC」の急な登り坂区間などにおいて、定置式の溶液散布装置と散水消雪装置（地下水利用）を前年度から約 1.2 km 増設し、全体で約 5.3 km 設置しており、降雪時には、両設備を用いて、雪道で自力走行できない車両の発生などの交通障害を抑制します。



定置式溶液散布状況



定置式溶液散布装置



<2. お客さまへのお願い>

① 早めの冬装備

高速道路をご利用されるお客さまには、早めの冬用タイヤの装着やタイヤチェーンを携行していただき、また、雪道での安全運転をお願いします。

特にE8北陸道「木之本IC～今庄IC」は、降雪が多い山間部を走行いたします。登り坂では、トラックなどの大型車は冬用タイヤを装着していても自力走行不能となる場合があります、大変危険ですので、必ずタイヤチェーンを携行いただくようお願いします。

② 冬用タイヤ装着確認作業（チェーンチェック）へのご協力

降雪時には、「賤ヶ岳サービスエリア下り線（富山方面）」や「南条サービスエリア上り線（米原方面）」等で全てのお客さまの車両を対象にサービスエリアなどに誘導し、一旦停止していただいて冬用タイヤの装着状況について確認作業をおこなうことがありますのでご協力をお願いします。

- ◆ 冬用タイヤ規制中の区間で、タイヤの装備が不十分な場合、事故を引き起こす可能性が高い車両とみなして供用約款（※）により、Uターンまたは最寄ICで高速道路から退出していただくことがあります。

※供用約款については、当社ホームページをご参照下さい。

[http://www.c-nexco.co.jp/highway_rule/pdf/stipulation.pdf]

- ◆ 各都道府県の道路交通法施行細則または道路交通規則による積雪・凍結時の滑り止めの措置を行わなければ、罰則（罰金および反則金）の対象になります。

③ 除雪作業、ツララ落とし作業などの低速走行時のご協力

降雪の有無に関わらず早朝などの冷え込みが予想されますと、ツララが成長し、落下の危険性がありますので、降雪状況に関わらずツララ落とし作業をおこなうことがあります。

除雪作業、凍結防止剤散布作業およびツララ落とし作業は、通勤時間帯などの混雑時間帯を極力避けて実施しますが、やむをえず混雑する時間帯でも作業が必要となりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、低速走行で作業をおこなうため、作業箇所付近では走行速度が低下します。追突事故防止のため、ハザードランプ点滅など、安全な走行にご協力をお願いします。

※作業状況は、「除雪 NAVI」で情報提供します。



編成（2～3台）による除雪状況





トンネル内のツララ落とし状況



<3. 冬の高速道路の安全な走行に向けて さまざまな方法で情報を提供しています >

① お出かけ前

冬の雪道情報「アイハイウェイ中日本」や携帯電話での音声案内サービス「ハイウェイテレホン #8162」をご利用ください。

アイハイウェイ中日本は、「冬用タイヤ規制」「通行止め」などの交通情報に加え、12時間先までの「雪」または「大雪」が降る可能性のある高速道路区間を着色（大雪が予想される区間 雪が予想される区間）で表示します。



[<http://c-ihighway.jp/>]

② 高速道路を走行中

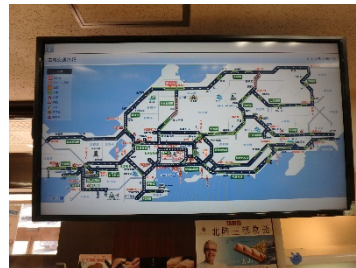
本線情報板、広域情報板、ハイウェイラジオなどで交通状況をご確認ください。



広域情報板による情報提供

③ 休憩施設で

ハイウェイ情報ターミナルによる交通情報と、ライブカメラによる路面状況の情報をご覧ください。



ハイウェイ情報ターミナル



路面状況画像の提供

④ 高速道路でのトラブル発生時

「非常電話」のほか、道路緊急ダイヤルやお客さまセンターをご利用ください。

道路緊急ダイヤル 「#9910」

NEXCO 中日本お客さまセンター 「フリーダイヤル 0120-922-229」

（ご利用できないお客さまは、052-223-0333 通話料有料）

※交通事故情報は警察(110番)へ